

都議会

# 自転車政策確立を

## 徳留氏質問 団地の再生も

日本共産党の徳留道  
信東京都議は18日の都  
議会一般質問で、自転

車政策の確立と、団地  
再生を求めました。  
徳留氏は「都内で発

生した交通事故のうち  
自転車関係する事故  
は2011年度には全

質問する徳留道議員  
18日、都議会本会議



体の3分の1を占め  
る」と述べ、都の自転  
車レーンの総延長距離  
が2011年度末時点  
で9ギにすぎず、ロン  
ドンやパリの10分の1  
以下だと指摘。「自転

車活用の推進と安全な  
走行のためにも、レー  
ンの抜本的な延長が不  
可欠だ」と言及し、ク  
ルマ優先の道路計画の  
抜本見直しを求めまし  
た。

舛添要一知事は「自  
転車レーンだけでな  
く、東京の道路事情に  
応じ、自転車の走行し  
やすい空間を連続させ  
て整備することは重要  
だ」と答えました。

徳留氏は、老朽化し  
た団地の再生問題も取

り上げ、住まいと福祉  
を一体にした施策の展  
開を求めました。

徳留氏は、高齢化率  
が5割で、1人暮らし  
が5割以上を占め  
る板橋区のUR高島  
平団地の取り組みを  
紹介。空き店舗、空き  
部屋を活用した介護セ  
ンターの開設、子育て  
世代むけのリニューア  
ルなどの事例を述べ、  
都営住宅の建て替えや  
団地再生に向けて、自  
治体、専門家、住民と  
の協議会を設置し、地  
域と行政をつなぐ地域  
福祉コーディネーター

を都内全域に配置する  
ことなどを提案しまし  
た。

舛添知事は住宅と福  
祉が連携する意義を認  
め、「ハードとソフト  
の施策を効果的に連携  
させ、世界一の福祉先  
進都市の実現に向けて  
取り組んでいく」と答  
弁しました。

福祉コーディネーター